セミナー通信

―教育実習総合センター―

重春小学校　学校訪問を終えて　P1

五月二十日（水）、西脇市立重春小学校へ四十二名の院生が訪問した。「やる気を育む」の教育目標のもと、八百三十一人の児童の笑顔と学びで学校中が活気に満ち溢れていた。

田中　秀夫　校長先生

校長講話から学んだこと

（院生の感想）

校長先生の話の中で特に印象に残った一つ目は、若手教員には主体性とコミュニケーション能力が求められることである。若手教員は経験が浅い分、自らを成長させていこうとする気持ちが重要であると解釈した。ベテラン教師の技量に少しでも追いつき、未熟さを積極的にカバーしなければならない。二つ目は、教師間の「報・連・相」が重要になることである。問題は、一人で抱え込むとかえって迷惑になる場合も多いので、周囲に問いかけることも大事であることを学んだ。（S男）

私は「教員」ではなく、「教師」として働くことの大切さを学びました。

校長先生は、お話の中で、学校全体で価値感を共有することや感性を磨くことの大切さについて教えてくださいました。それら全て「教師」ならではの資質、能力だと思います。自尊心を育むこと、生きる力を養う等、今の教育現場には様々な課題がありますが、そのような環境の中で、自分だからこそできることや教師にしかできないことを見つけて取り組んでいきたいと思いました。（K子）

一番印象に残った言葉は、「一年間は、最初の一週間で決まる」という言葉でした。学級担任を持つと、一年間を見据える必要があります。学級開きの大切さについて改めて感じました。（N男）

校長先生がお話をして下さった内容は、私達教師を目指す学生にとってとてもためになる貴重な内容でした。「人間力を高める」ということを更に意識していきたいと思いました。いろいろなことに興味を持ち、多くの人と積極的に会話をし、いろいろな世界を見ることにより感性が豊かになる。教師として多くの引き出しを持つことで、教師になった時、幅広い経験が現場で活かせると思いました。（T男）

授業観察から学んだこと

重春小学校の児童は、特に授業の規律を守る姿勢がすばらしくて、他者の意見を受け入れる反応を示したりすることで全員が参加し、全員が発言しようとする態度をもって授業に臨んでいるなと気づくことができました。

また、活動形態も個人で考えるだけでなく、ペアワークやグループワークが多く取り入れられていました。これらは、人間関係の形成へとつながるものです。他者との関わりを促す指導や活動形態の工夫を加えられるような教育的実践力を身につけることが大切なのだと先生方の授業から学ばせて頂きました。（M子）

先輩（新任の先生）からのメッセージ

香芝市立下田小学校

島本　勇希　先生

私は、奈良県で小学校教員として二ヶ月の経験を経た今、これから教員になる皆さんに伝えたいことがあります。

大学院を卒業して現場に出ると、めまぐるしい速度で日々が流れていきます。そんな日々の中で、授業、学級経営など、準備不足や経験不足が相まって、五里霧中の手探り状態で過ごしているのが私の現状です。そんな中で、私の支えになっているのが、大学院時代にとったノートです。大学院では、非常に多彩な授業やセミナーを受講することができます。そして、授業やセミナーにおいて聞ける話は、現場に出て役立つ「宝物」ばかりです。「何の役にたつのかな」と感じていたノートでも現場経験を持ってから読むと唸ってしまうことが多々あります。

本当に素晴らしい学びの場から少しでも多くのことを学び取る努力をすることが、来るべき教育への羽ばたきに向けた一番の準備だと考えます。

播磨町立蓮池小学校

桑木　小百合　先生

毎日があっという間に過ぎていきます。しかし、実習や机上の学習とは違い、目の前にいる子どもたちは、本当に幸せです。

現在、漢字や文字を丁寧に書くことの徹底に力を入れています。丁寧に書くことがいかに大切かを、チョウチョ花丸の数に応じて金のシールを配り、教室に掲示している「チョウチョ花丸達人シート」の自分の名前の欄に貼らせています。四年生にしては幼い取り組みだったが、チョウの花丸をもらうために宿題を丁寧にしているようです。

学生の時に、「小学校６年間で学習する文字」の書き順を復習するべきだったと感じます。模擬授業や日々の生活で意識してみてください。採用試験の際にも自信をもって板書できるといいと思います。

★お知らせコーナー★

前期セミナー終了後（7月15日～8月28日の月・水・金）、希望により個人面接の練習を受け付けします。7月6日から教育実習センター入り口に張り出します。表に希望日時を記入してください。

＊備考

1　受験希望地の資料（問題）を持参してください。

2　グループ面接は、別途相談に応じます。

3　第3、第4会場は、日によって変更があります。積極的に参加していきましょう。

理解していますか、教育法規

(欠格条項)

1．「地方公務員法第１６条」
(欠格事由)

2．学校教育法第９条
次の各号のいずれかに該当する者、校長又は教員になることができない。

(1)成年被後見人又は被保佐人

(2)禁錮以上の刑に処された者

(3)教育職員免許法第 10 条第１項…

(4)教育職員免許法第 11 条第１項…

(5)日本国憲法施行の日以降に…

セミナー本格化！

・個人面接
・模擬授業
・場面指導
・集団面接

勝負の月！
実践力ＵＰ

★教員採用に向けて★

願書を出し始めると、間もなく教員採用試験！どの人も本番に向けて、着々と準備をしていることでしょう。

各都道府県から出されている「求める教師像」は勿論、従来の頻出領域の教育基本法、特別支援教育、いじめに加えて学習指導要領・教育課程（総則）。「道徳の教科化」についても調べていきましょう。

また、求められる教師像を具体的な教育活動と関連づけて整理しておきましょう。

受験する人はみな同じ心境です。しかし、受験に向けて惜しまぬ努力を積み上げることで自信と落ちつきが生まれます。自分を信じ、最後まで共に頑張っていきましょう。

全国都道府県・市　こんな教師を求めます

＜東京都＞東京の先生になろう
- 教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- 豊かな人間性と思いやりのある教師
- 子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- 組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師

＜神奈川県＞先生、神奈川でまってます！
- 人格的資質と情熱をもっている人
- 子どもや社会の変化による課題を把握し解決できる人
- 子どもが自ら取り組む分かりやすい授業を実践できる人

＜横浜市＞求む！！豊かな人間性
- 横浜を愛し 豊かな人間性・社会性
- 子供との関わりを大切にし　授業で勝負する教師
- 教育に情熱をもち　常に自己研鑽に努める教師

＜大阪府＞子どもが好き。だから頑張れる。
- 「豊かな人間性」「実践的な専門性」「開かれた社会性」の３点を求める人物像に掲げ、即戦力となる熱意ある優秀な教員の採用に取り組む。

＜大阪市＞こんな先生を求めます
- 「情熱」「教えるプロとしての自覚」「人間味」という３つのキーワードを掲げて教採テストを実施。

＜神戸市＞子どもが好きで学び続ける人を求む

「豊かな人間性あふれる教員」「教育への意欲に満ちた教員」「実践的指導力のある教員」「視野が広く対応力のある教員」

＜広島県・広島市＞求められる教職員像

「新たな『教育県ひろしま』の創造に向けて特に求められる事項」・確かな授業力・豊かなコミュニケーション・新たなものに積極的に挑戦・他の教職員との連携・協働し組織的に職務を遂行できる。

▼「教採選考」の変更点

（静岡県）
- 地理歴史の「日本史」、「世界史」を統合し、「歴史」として試験を実施。

（滋賀県）
- 小学校の専門実技に、特別活動に関する実技を導入。

（大阪市）
- 第１次選考の筆記テストについて、50 問とする。

（神戸市）
- 模擬授業を第２次選考受験者全員に拡大。

（徳島県）
- 小学校の実技審査に英語実技を導入。

（高知県）
- 小学校の専門教養に英語を追加。

（大分県）
- 小学校第２次試験の模擬授業の実施方法の変更。小学校第２次試験における英語実技試験の導入。